

常任委員会審査概要

議会の情報をみなさんにお伝えするため、
3つの常任委員会での審査概要をご紹介します。

総務常任委員会

委員長 奥村 孝宏

●議第2号 多治見市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正するについて

「政府が運営するオンラインサービス(びつたりサービス)」として、マイナンバーカードを使って、「転出、転入、子育ておよび介護に関する申請ができるようになる」とのことだが、それ以外の展開についてはどのような「質疑」があり、「転出、転入のオンライン手続については、既に実施している。びつたりサービスには、マイナンバーカードを用いないものもあり、消防関係の手続ができるよう準備している」との答弁がありました。

●議第8号 令和4年度多治見市一般会計補正予算(第8号)(所管部分)

「財政調整基金について、充足率が25・9%と非常に高く、金額的にも、非常に多い残高となっていることはすばらしいという評価をしてよいのか」との質疑があり、「財政調整基金の残高の多寡については、いろいろな評価がある。市民1人当たりの残高については、県内で「中位」である。これまで投資的経費を増額してきた中で、これだけの残高をしっかりと積み立ててきたものと評価をしている」との答弁がありました。

経済建設常任委員会

委員長 山田 徹

●議第7号 多治見市営住宅管理条例の一部を改正するについて

「市は、市有施設の耐震化に取り組んできたが、簡易耐火構造の建物は、現在の耐震基準を満たしているのか」との質疑があり、「耐火性のある部分については、引き続き維持管理を行っていくものの、建物や住環境としての老朽化はかなり進んでおり、そういった建物については早期に集約化を進めていきたい」との答弁がありました。

●議第8号 令和4年度多治見市一般会計補正予算(第8号)(所管部分)

人財育成事業費について、「意匠研究所の研究生の人数が当初の見込みより増えたが、実習料の値下げによるものか」との質疑があり、「アンケートを行ったところ、約4割の新入生が実習料の減額が選ぶ理由になった」と回答しており、研究生の増加につながっていると考えている」との答弁がありました。

消費地地場産業販路拡張対策費について、「中国の大きな市場に対して、販路拡大に挑戦する一方で、商標や特許といった点の安全性に心配があるが、いかがか」との質疑があり、「美濃焼」の商標が中国の民間事業者に登録されてしまっているという問題がある。商標や特許の関係など、気を使うことは多いが、中国のビッグマーケットへの狙いもあり、市も業界等と連携を取りながら、間違いない形で行っていきたい」との答弁がありました。

厚生環境教育常任委員会

委員長 玉置 真一

●議第8号 令和4年度多治見市一般会計補正予算(第8号)(所管部分)

霊園整備基金積立金における合葬式墓地の利用状況について質疑があり、「合葬式墓地には、個別埋葬が1千件分あり、共同埋葬が5千件分あるので、まだまだ余裕はある」との答弁がありました。

生活困窮者自立支援事業費における対象者の掘り起こしの必要性について質疑があり、「令和3年度から多治見市社会福祉協議会に委託し、相応に機能している。その結果、生活保護に陥らないという、生活保護の前のセーフティネットとして機能したと認識している」との答弁がありました。

●議第17号 令和5年度多治見市一般会計予算(所管部分)

戸籍住民基本台帳関係事務費における健康保険証とマイナンバーカードの一体化について質疑があり、「一体化の期限はまだ指定されていない。国民健康保険証は、マイナンバーカードがない方には、紙で発行する方向で国は調整している」との答弁がありました。

病院事業会計補助金における産科開設の協議状況について質疑があり、「開設に向け医師の確保を要望しているが、より必要な地域に医師が流れているのが実情である。できるだけ多治見市の出産環境がよくなるように努力したい」との答弁がありました。

母子保健事業推進費における新生児聴覚検査の助成

常任委員会審査概要

付託されたおもな議案

事件番号	件 名	審査結果
議第2号	多治見市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正するについて	原案可決
議第8号	令和4年度多治見市一般会計補正予算（第8号）（所管部分）	
議第17号	令和5年度多治見市一般会計予算（所管部分）	
議第29号	市政監察契約の締結について	

●議第17号 令和5年度多治見市一般会計予算（所管部分）

「法人市民税については、非常に堅調である。企業誘致の影響が大きいと思うが、多治見市全体で見るとわずかな企業数である。全体的に見て景気がいいのか、特定の業種に限って景気がいいのか、どのような見解か」との質疑があり、「法人市民税は、令和4年度においても非常に好調で、既に予算を相当程度上回る額を調定している。昨今の景気状況について、多治見市においては、誘致企業の調定額は非常に大きい。法人市民税の全体の構成を見ると、上位50〜60社の税収が法人市民税全体の半分程度を占める構成になっている年度もある。業種の分析も必要だが、そうした非常にウェイトの高い法人の状況を見ていくことが大事になってくる」との答弁がありました。

付託されたおもな議案

事件番号	件 名	審査結果
議第7号	多治見市営住宅管理条例の一部を改正するについて	原案可決
議第8号	令和4年度多治見市一般会計補正予算（第8号）（所管部分）	
議第17号	令和5年度多治見市一般会計予算（所管部分）	
議第25号	令和5年度多治見市水道事業会計予算	

との答弁がありました。

●議第17号 令和5年度多治見市一般会計予算（所管部分）

中心市街地活性化事業費について、「たじみビジネスプランコンテストにより、創業者が多く輩出されることを期待しているが、アフターフォローについては、どのように考えているのか」との質疑があり、「いろいろな支援が受けられ、応募する価値があると口コミで広がり、応募者が増えてきている。フォローアップについては、産業文化センターの起業支援マネージャーを中心とした経営相談や、多治見商工会議所によるアドバイスが受けられるなど、密に行っている」との答弁がありました。

付託されたおもな議案

事件番号	件 名	審査結果
議第8号	令和4年度多治見市一般会計補正予算（第8号）（所管部分）	原案可決
議第17号	令和5年度多治見市一般会計予算（所管部分）	
議第22号	令和5年度多治見市国民健康保険事業特別会計予算（所管部分）	
議第31号	第7次多治見市総合計画基本計画を変更するについて	

拡大について質疑があり、「少しでも保護者の負担を減らし、多くの方に聴覚検査を受けていただきたいとの思いから新生児聴覚検査の助成を1/2助成から全額助成に拡大した」との答弁がありました。

●議第31号 第7次多治見市総合計画基本計画を変更するについて

笠原校区で幼保連携型認定こども園の整備が進む中、既存の基本計画事業である小泉保育園と北野保育園の統合園整備の手法について質疑があり、「全国的に認定こども園化が広まっているが、どのエリアでも認定こども園化がふさわしいとは限らないので、利用者のニーズに応えられるように研究、検討していきたい」との答弁がありました。